

社協だより



あはら

No.22

平成9年7月15日

各務原市社会福祉協議会

発行

蘇原北部支部

蘇原北部 モデル推進支部社協に指定される

平成9年度 各務原市社会福祉協議会 蘇原北部支部総会



来賓挨拶
社協清水事務局長

夏休み親子ふれあい映画会

◇日時 8月1日(金) PM7:00~
◇場所 第1小体育館

早の朝こたない「あはらちゃん」と いじゅっ子の心を動かす
あはらちゃんのおぼろるふれあいのとまごころを届け

★1995年度教育映画祭優秀作品賞受賞★
厚生省中央児童福祉協議会
平成7年度モデル推進文化財

がんぼれ ままちゃん

文部省選定

あたたかいなみだが
ほほえみ
つたいます。

日本L.A.全国児童映画祭
最優秀賞 在欧児童映画祭
最優秀賞 在欧児童映画祭
最優秀賞 在欧児童映画祭
最優秀賞 在欧児童映画祭

監督 山崎和博

製作 山崎和博

脚本 山崎和博

演出 山崎和博

音楽 山崎和博

美術 山崎和博

撮影 山崎和博

編集 山崎和博

効果 山崎和博

衣装 山崎和博

メイク 山崎和博

ヘア 山崎和博

プロダクション 山崎和博

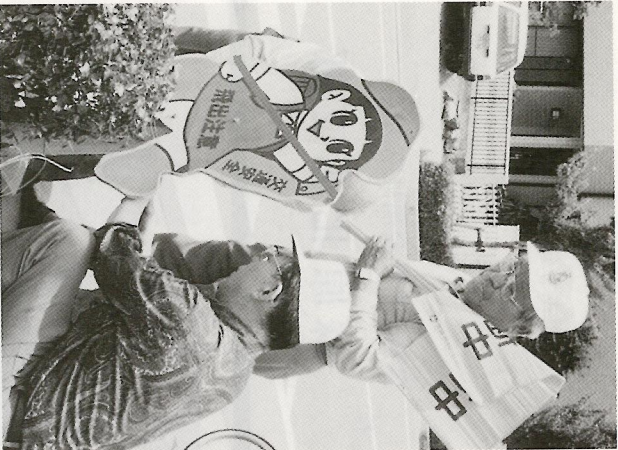
制作 山崎和博

平成9年度 蘇原北部支部役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
支部長	河村 一次	評議員	若森 明	評議員	坂井 久子	評議員	坂井 たづ子
副支部長	金武 拙美	"	青木 周三	"	奥田 登子	"	小林 みね
"	伊藤 正憲	"	柳原 幸一	"	高原 育子	"	広瀬 淳喜
理事(会社)	石塚 啓一郎	"	後藤 勝美	"	寺尾 三雄	"	小川 計子
理事	小川 勝美	"	小林 昭治	"	山本 繁雄	"	河村 一子
"	水野 勇	"	河合 定光	"	北岡 幸	"	桑名 彩
"	河合厚夫子	"	河合 暁	"	清水 ユキ子	"	水野 信枝
"	小篠 一貫	"	米本 浩二	"	飯沼 栄子	"	長縄 八重子
監事	太田 雅男	"	加藤 八一	"	水野 女子	"	田上 ぶみえ
"	飯沼 泰子	"	足立 又男	"	八木 洋一	"	広井 正子
福祉推進員	杉浦 幸男	"	亀田 功	"	富田 博道	"	広井 澄恵
"	遠藤 孝司	"	村田 哲夫	"	川上 真吾	"	飯沼 さなゑ
評議員(総務)	横山 康彦	"	三丸 文也	"	武山 米子	"	飯沼 正典
評議員	小野木 稔	"	花田 心次	"	安田 重子	"	木川 栄一
"	林 誠	"	清水 昇	"	小野美寿子	"	竹田 則子
"	水野喜十郎	"	箕浦 豊八	"	藤井 鈴美	"	蒲 久美江
"	和田 幸久	"	奥田 義人	"	遠藤喜久恵	"	澤野 正子
"	清水 隆	"	林 八郎	"	大堀 正子	相談役	水野 健次
"	坂井 治雄	"	花田 澄子	"	水野 千恵	"	石田 義美
"	坂井 茂夫	"	水野美佐子	"	田澤 綾子		
"	広瀬 実	"	殿城 護	"	河合わか江		

平成 9 年度 蘇原北部支部年間活動計画

年月	活 動 内 容
4月	役員の選考
5月	総会 理事会
6月	理事会 交通安全横断旗の点検・修理 福祉講演会の開催
7月	理事会 会費趣旨説明会（自治会長） 地域介護講習会 支部だより発行（第22号）
8月	理事会 親子ふれあい映画会 車椅子体験学習
9月	理事会 第16回福祉フェスティバルに参加 友愛訪問（ねたきり老人対象） 敬老のつどい 市民運動会の共催
10月	理事会 共同募金・歳末たすけあい運動の推進 福祉座談会（近隣ケアグループ）
11月	理事会 親父ネットワーク ひとり暮らし老人を囲む会 高齢者祝品の贈呈 市社会福祉大会へ参加 先進他地区との交流訪問
12月	理事会 歳末福祉座談会
10年11月	ホームヘルパーと語る会
2月	理事会 高齢者健康作り教室
3月	理事会 総会 支部だより発行（第23号）



6月14日 花園町に新たに交通安全横断旗が設置された

平成 9 年度 蘇原北部支部予算書

*収入の部

科 目	金 額	予算額 (円)
交 付 金	770,000	770,000
モデ 推 進 支 部 交 付 金	100,000	100,000
支 部 だ よ り 発 行 会 費	320,000	320,000
会 費 趣 旨 説 明 会	8,000	8,000
ひ と り 暮 ら し 老 人 を 囲 む 会	15,000	15,000
福 祉 座 談 会	10,000	10,000
そ の 他 の 助 成 金 等	30,000	30,000
繰 越 収 入	433,000	433,000
雑 収	1,000	1,000
合 計		1,687,000

*支出の部

科 目	費 用	予算額 (円)
事 務 費	60,000	60,000
福 祉 教 育 事 業 費	150,000	150,000
友 愛 訪 問 事 業 費	40,000	40,000
支 部 育 成 事 業 費	35,000	35,000
福 祉 座 談 会	45,000	45,000
ひ と り 暮 ら し 老 人 を 囲 む 会	40,000	40,000
親 子 ふ れ あ い 映 画 会	36,000	36,000
支 部 だ よ り 発 行 会 費	320,000	320,000
会 員 募 集 事 業 費	70,000	70,000
会 費 特 別 事 業 費	50,000	50,000
歳 末 発 行 事 業 費	70,000	70,000
啓 蒙 活 動 事 業 費	300,000	300,000
ふ れ あ い 事 業 費	30,000	30,000
生 活 環 境 改 善 事 業 費	50,000	50,000
生 活 環 境 改 善 事 業 費	80,000	80,000
総 計	311,000	311,000
合 計		1,687,000

どうなる、二十一世紀



支部長 河村 一 次

二十一世紀まであと何年という言葉を聞いてから久しくなるが、何が昨年来、ビッグバンをはじめ健康保険法改正及び介護保険法継続審議など変革の波がひたひたと押し寄せ、また、相次ぐ金融スクランルの発覚、神戸の小学生殺人事件など人心を惑わす世相となつて、いよいよ慌しく二十一世紀が突然目前に迫つて来た感を深くしている。この新たな世紀を迎えるに当つて、少子化や高齢化の問題はどうなる、医療費は？在宅介護は？と改めて真剣に考えてみる必要がある。

日本の赤ちゃんは減り続けている。一人の女性が生涯に平均何人の子供を産むかを表す数値は一・四三人で、現在の人口を維持するためには一・〇八人必要とされる。従つてこの傾向のまま推移すれば人口は減少に向かい、日本の社会そのものが老化し活力を失う。

政府は昨年から「エンゼルプラン」と銘打つて子育て支援の総合計画をスタートさせたが思い切つた施策は打てず、ままならないのが実情である。二十一世紀にはこの少子化対策を社会経済の活力を損なわず、将来を担う子供達やお年寄りが安心して暮らせる社会を実現するといふ観点に立つて、社会保障制度の構造改革を進めていかねばならない。

日本の医療費は、高齢化の急速な進展を背景に、九七年度には約二十九兆円に達する見込みであり、七〇歳以上のお年寄りの医療費は、

その三割強の約十兆円にのぼる見通しである。一方、こうした医療費の問題と並んで「本当に信頼できる病院を選びたい」といった医療の質、内容や情報開示に関する国民のニーズも強まっている。高齢者の医療については制度を独立させ、消費税をそこに重点的に投入するといった思い切つた仕組みを考へていく必要がある。こうした問題は、年金や介護と並んで、戦後五十年の日本人が余り考へなくてよかつた「新しい」質の問題である。

九〇年代までのような社会福祉は、生活保護を支給するとか、施設を造つて其処に要援護者を收容すると言つた感覚の時代ではなくなつてきた。在宅福祉サービスを軸として、住みなれた地域で家族と共に暮らして行けるような新しいサービスシステムを創つていき、五年後十年後を見据へた介護を実施していく時代になつて来たんだということに認識しなければならぬ。この様に、二十一世紀は「物」や「金」の施設介護の時代ではなく、ゆとり型社会をめざす「心」の在宅介護が中心となる時代とならざるを得ないだろう。

いくら平均寿命八〇歳という世界一の長寿国となつたとしても、ねたきりで老後を送ることは余りにも暗く悲しい人生と言わざるを得ない。人は誰しも晩年を明るく健康で快適な暮らしを願っている。美しく年輪を重ね、人生の最終ステージに立つて、基本的には心身の自立の努力によつて充実した時期を送ることが、本当の意味での二十一世紀の快適な人生と言ひ得よう。

“社協会員募集のお願い”

一般会員 年額 5000円以上
特別会員 年額 1,0000円以上

8月には社協会員募集月間です。今年も自治会長さんや、班長さんを通じてお願いいたしますので、皆様のご理解と積極的なご協力をお願い申し上げます。